

「秋です 本です 読書です」  
図書館では新しく次のような本が入りました。

図書館だより

【仲川十左衛門文庫より】

『物価の文化史事典(明治・大正・昭和・平成)』

森永卓郎監修 展望社

物価というのは、所得とならんで、我々の生活のもっとも身近な経済指標。米価から総理大臣の給与まで、近代日本百年余の物価の推移がひと目でわかります。

『世界の国歌総覧』全楽譜付き

マイケル・ジェミソン・プリストウ編 別宮貞徳監訳 悠書館

他国の国歌をうたい、演奏しなければならないときの参考図書としてばかりでなく、歌詞の中には、並みいる民族の熱い思いをあらわしています。

『世界遺産と地域再生(問われるまちづくり)』毛利和雄著 新泉社

佐渡金山が世界遺産登録暫定一覧表に記載されました。世界遺産ブーム?世界遺産とは何か?石見銀山が世界遺産になった底力など著者の提言に深く感銘します。



知っていますか?(こんな本があります。著者は佐渡出身です)

『チーズの悦楽十二月』一ワインと共に 本間るみ子著(旧畑野町) 集英社

季節やイベントに合わせて楽しむ、もっとおしゃれなチーズの世界!「チーズのカリスマ」として知られる著者が初めてチーズとワインの組み合わせをまとめて解説してある興味深い本です。

『スコッチウイスキー紀行』土屋守著(旧両津市) 東京書籍

世界的ウイスキー・ライターが旅し、綴るその歴史、製法、蒸留所とそこに生きる人々。スコッチウイスキーの魅力の全てが載っています。

『立志・苦学・出世 受験生の社会史』竹内洋著(旧両津市) 講談社

怠惰・快楽を悪徳とし、刻苦勉強、螢雪読書する世界は勉強立身の物語に支えられる。苦しい受験生を生んだ近代日本の心性をさぐる。

東京在住の江波光一さんからご寄贈いただきました。ありがとうございました。

高尾亮一(旧新穂村出身)作の『忙散亭図会』限定350部 5冊セットです。

この本は、高尾さんの版画集で和綴じの限定出版の貴重本です。「少年行」(佐渡に生まれた作者の佐渡への思いが美しい版画と詩で綴られています)「皇居周辺」「をりふしのたより」「いろは狂言づくし」「佐渡風流(さどぶり)」「観光客があまり目にとめない島の一面を色鮮やかな版画にしてあります」の5部作です。大変美しい版画と詩文が素晴らしい、高価な本です。貸出はできませんが館内でご覧いただけます。



佐渡國しま海道 よれっちゃ伝言板

小さな道の駅「寄れっ茶屋」試行期間終了、年明けから本格実施へ

「旅の途中でちょっと道を訪ねたり、トイレを借りたり…そんな「小さな道の駅」があれば良いのでは…」佐渡國しま海道では今年4月から、小さな道の駅「寄れっ茶屋」事業を行ってきました。9月一杯で試行期間を終了し、今後の本格実施に向けて10月22日にモニターにお集まりいただき、意見交換を行いました。

試行期間は終了しましたが、モニターの方々のご意見も参考に年明けの本格実施に向けて準備を進めていく予定です。

市民の皆さまからも「寄れっ茶屋」に関するご意見等お寄せいただければ幸いです。



寄れっ茶屋会議

お問い合わせ・市役所建設課 ☎63-5118 ・佐渡國しま海道事務局 ☎57-0118

